

## 危険箇所・避難場所等視察研修を開催しました

平成30年10月4日、防災部会の新規事業「危険箇所・避難場所等視察研修」を開催しました。

### 講義

安積行政センターにおいて、消防関係各団体の代表者のあいさつの後、行政センターの職員から安積町の概要や、防災団体が実施している防災意識啓発活動、防災訓練の様子、安積町の特色ある取り組みなどについて話を伺いました。

### 現地視察

#### 【日出山地区】

水害時避難所である日出山分館で、日出山地区の水害の歴史や日出山地区の地形と水害のメカニズムについて説明を受けた後、南川樋門を見学しました。



南川樋門



地域住民と高校生の避難訓練

#### 【神明下地区】

神明下地区では、地区内にある帝京安積高校と連携し、水害時の緊急避難場所として同校の2階建の体育館を使用する協力関係を築いており、神明下地区住民と生徒の合同避難訓練の様子を視察しました。

体育館内では、校長先生から帝京安積高校の防災体制についてのお話があり、帝京安積高校和太鼓部による演奏も披露していただきました。

昼食は、安積町女性消防協力会に炊き出し訓練として美味しいカレーライスを調理していただきました。ごちそう様でした！



全国各地で地震・台風などによる災害が多発しています。  
避難勧告や避難指示は命を守る大切なものと認識し、必ず従ってください。  
被害を甘くみたり、自分を過信したりせず、命を大切にしましょう。

## 全国自治会連合会会長表彰受賞者紹介

全国自治会連合会東京大会の席上で、住民自治組織の発展向上や全国自治会連合会事業の達成に貢献された方々が表彰されました。

本市からは安積町自治会長会の八代 實さんが受賞し、当日、東北ブロックの代表として表彰状を受け取りました。誠にありがとうございます。



## 町内会長等研修会「いきいきふれあいの集い」を開催しました

11月9日に郡山市と社会福祉法人郡山市社会福祉事業団が主催する「郡山市豊かな長寿社会 いきいきふれあいの集い」が、けんしん郡山文化センターで開催され、長寿社会を進めるための提言の発表や活動事例発表、北野大さんによる記念講演が行われました。

町内会長等研修会として本会も共催し、本会役員や町内会長が参加しました。

## 全国自治会連合会東京大会に参加しました

平成30年11月14日「全国自治会連合会東京大会」に本会から13名が参加しました。

大会では、住民自治のさらなる発展と未来に誇れる地域社会の創造を目指す大会宣言がなされ、続いてアテネオリンピック男子ハンマー投げ金メダリストの室伏広治氏による記念講演が行われました。

活動発表では、墨田区町会・自治会連合会、足立区町会・自治会連合会、立川市自治会連合会から全国的に大きな課題となっている自治会加入促進の取組みについて発表がありました。住民や町会へのアンケート調査の結果の紹介や、プロボノワーカーの協力を得て行った「町会加入促進リーフレット」作成事業の成果、災害に強い地域づくりの推進を目的に配付している「絆カード」事業の取組みなどが紹介されました。



全国大会



選手村建設地の見学

翌日の視察研修では、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け建設中のカヌー・スラローム会場や、晴海選手村予定地などを見学しました。

### 紹介 久留米開墾の歴史

久留米地域は、郡山駅から南西に約5km離れた標高240~250mの小高い大地に拓かれた町です。

明治時代には、大蔵壇原（だいぞうだんばら）と呼ばれ、荒井村、小原田村、大槻村の入会地で、共同で使用出来る草刈場になっていました。

江戸幕府が終り、明治維新（1868年・明治元年）になり、新しい国家の仕組みに変わり、国民皆兵という徴兵令により約200万人の武士が職を失うことになりました。

明治政府の士族授産対策により、福岡県旧久留米藩士代表先発隊10名が、明治11年11月11日に郡山の地へ到着、のち大蔵壇原に鋤入れをし、後から来る同志を待ちました。やがて久留米開墾社を設け、大蔵壇原に40戸、対面原（現在の喜久田町、日和田町）に101戸、合計141戸、585名が入植しました。

久留米は40戸が入植し、刀を鋤に持ちかえて開墾した地域であり、以来、幾多の苦難や歴史に培われた不屈の精神が、団結と相互扶助の気質を醸成し伝統となっています。

慣れない肉体労働で長続きがあやぶまれる中、夜間の学問勉強は熱心に続けられ、入植2年後、京都の西本願寺に願い出て説教所を建立し、明治14年には天皇の野立ちを願い、また、心の拠り所とし古里の産土神（うぶすななみ）水天宮様の分霊を勧請しました。その頃、政府の事業であった猪苗代湖の水を安積原野へ引く疏水の大事業も完成しました。

「久留米押し絵」は元々九州久留米で行われていた「おきあげ」と呼ばれたもので、今でも節句やお祝い事に使われ、伝承押し絵として受け継がれています。

また、水天宮に伝わる「水天宮船太鼓」を総本宮で習い、久留米に於いても子ども達に伝えるなど交流が盛んです。

昭和50年にふる里久留米市と郡山市が姉妹都市の盟約をして以来太い絆で結ばれています。

開拓の先人は「刀を鋤に持ちかえて」農業に励みながら将来のため広大な土地を確保してくれました。現在の公民館やグラウンドの敷地もその恩恵によるものです。

後世のための「ふる里」づくりが140年に亘って実践されたことにより、今日の久留米の発展を見るに至っています。



水天宮



久留米押し絵

### 《加入促進キャンペーンチラシの活用を！》

アパートへの勧誘活動や、近所に引っ越してきた方への御挨拶など…町内会活動を知っていただくきっかけづくりに、チラシを活用ください。詳しくは各町内会長又は事務局にお問合せください。



### 郡山市自治会連合会事務局

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号

(郡山市市民・NPO活動推進課内)

電話 024-924-3471

FAX 024-931-5186

メール k-jichiren@abnet.or.jp

ウェブサイト <http://www.Koriyama-jichiren.com/>